学校番号	119

令和３年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂新生物基礎」（数研出版）						
副教材等	四訂版リードLightノート生物基礎（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用ノートと問題集用ノートは共用のものを１冊，用意してください。
・授業には教科書とノートを持ってきてください。問題集は各自で演習を進めてください。
・それぞれの定期考査の前には，問題集の提出を行いますので，計画的に準備してください。
・定期考査ごとにノートを集め評価の対象としますので，きちんとノートを取ってください。
・生き物を見ると，「よくできているなあ」と感嘆するばかりです。現存する生物は，度重なる環境変化をくぐり抜けて生き残ってきました。現存生物には，生き残ってきた理由が隠れているのです。この理由（生命現象の生物学的意義）を一緒に探しにいきましょう。
・１つの授業（話のまとまり）の内容について，ノートの見開き２ページにバランスよく図を描き，文章を記述し，口頭による説明を補足してください。
・興味深かった点，理解できなかった点，さらなる疑問など自分なりに感じたことをノートに書き込んでください。そうすれば，きっと生物学を楽しめるようになるはずです。

２　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育くむとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。
・細胞の働きおよびＤＮＡの構造と機能の概要を理解し，生物についての共通性と多様性の視点を身に付ける。
・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し，体内環境の維持と健康との関係について理解する。
・生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，生物の共通性と多様性を意識するなど，科学的態度を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察，実習などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について,基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。

評価方法	学習状況の観察 確認テストや授業プリントの記述 探求活動の記録，発表	学習状況の観察 確認テストや試聴レポートの記述 探求活動の記録，発表 定期考査の結果	学習状況の観察 確認テストや実習レポートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 視聴レポートや実習レポートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴・遺伝子とその働き	生物に見られる多様性と共通性	○				a:生物の多様性と共通性，遺伝現象とDNA に関心を持ち，意欲的に探究しようとする。 b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し，導き出した考えを表現している。 c:「生物の特徴と遺伝子」に関する探究活動を行い，生物学的に探究する方法を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理している。 d:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し，知識を身に付けている。 DNA の情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し，知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 確認テスト 視聴レポート 実習レポート 観察・実験 定期考査
		細胞とエネルギー				○		
		遺伝子と DNA	○					
		DNA の複製と分配		○				
2学期		遺伝子の働き				○		
		生物と遺伝子に関する探求学習			○			
	体内環境と恒常性	生物の体内環境 体液とその働き	○				a:体内環境について関心をもち，体液とその働きについて意欲的に探究しようとする。 b: 血糖濃度と体温調節が自律神経系と内分泌系の協調作用によって，一定の範囲に保たれていることを考察し，導き出した考えを表現している。 c:「体内環境と恒常性」に関する探究活動を行い，生物学的に探究する方法を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理している。 d:体内環境の調節に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し，知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 確認テスト 視聴レポート 実習レポート 観察・実験 定期考査
		体内環境の調節のしくみ				○		
		自律神経系の働き				○		
		ホルモンによる体内環境の維持				○		
		血糖濃度の調節		○				
		体温の調節		○				
		体内環境と恒常性に関する探求学習			○			
3学期		生体防御	○				a:生体防御について関心をもち，意欲的に探求しようとする。 b: 免疫反応が病気の予防や治療に利用されていることを考察し，導き出した考えを表現している。 c:「生体防御」に関する探究活動を行い，	学習状況 探求活動 確認テスト 視聴レポート 実習レポー
		自然免疫				○		
		獲得免疫				○		

		免疫と医療		○			生物学的に探究する方法を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理している。 d:自然免疫と獲得免疫における病原菌などの異物の認識，排除による体内環境を保つしくみを考察し，導き出した考えを表現している。	ト 観察・実験 定期考査
		生体防御に関する探求学習			○			

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが，学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。